

卵子凍結サービスを提供するグレイスグループへ出資 ～女性が願うあらゆるライフプランの実現に向けて協業開始～

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役（兼）社長執行役員 COO：水野克己、以下：当社）は、女性活躍推進や少子化対策などの社会的課題へ取り組むことを目的に、選択的卵子凍結保管サービス事業を行う株式会社グレイスグループ（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：花田秀則、以下：グレイスグループ）へ協業に向けた出資を決定いたしました。



■ 深刻な日本の社会課題

日本は世界で最も深刻な少子化問題を抱える国でありながら、世界で最も多くの体外受精が実施されている不妊治療大国です。国内の不妊治療技術は世界最高と言われながらも、その成績は決して芳しくなく、2021年の年間出生数はついに80万人を下回るとまで予測されています（※1）。また、世界経済フォーラムによる「世界ジェンダー・ギャップ報告書 2021」によれば、日本の総合スコアは対象156カ国中120位と女性の社会進出や女性活躍の領域において、先進国の中でも大きな遅れを指摘されています。先進国の中でも生産性の低い日本が、女性の平等活躍を経済面で実現できれば、GDPは5,500億ドル増加するという試算もあります。

※1 出典：日本総研「コロナ禍で加速する少子化」

■ 当社の考える出資意義

米国の医学誌に発表された研究では、年齢に応じて採卵した卵子数と1人の子供を授かる確率が示されています。2人子供を授かるには、卵子20個だと34歳の場合は66%、37歳で39%、42歳で7%の確率といわれています（※2）。将来の不妊治療に備え、「より若いうちに」「自主的に」採卵・凍結保存のプロセスを行なっておくことで、将来のキャリアやライフスタイルを考える女性に、より多様なライフスタイルの選択肢を提供できると考えられています。

カード会員様の約6割が女性で構成され、また、社員の女性活躍を推進する当社と、女性向け総合医療サービスの実現を目指し、卵子凍結サービスを提供するグレイスグループとの協業により、卵子凍結サービスの認知拡大や最適な金融商品の開発等を進め、多様化する女性のキャリアやライフプランの実現を積極的に支援することで、「深刻な少子化」や「進まない女性の社会進出」などの社会的課題の解決に貢献してまいります。また、卵子凍結サービスの普及を皮切りに、日本におけるFemtech（フェムテック※3）市場拡大に取り組み、女性が働きやすい環境作りも推進してまいります。

※2 出典：Human Reproduction vol.32, No.4, 2017, p853-859)

※3 Femtech（フェムテック）とは、Female（女性）とTechnology（テクノロジー）を掛けあわせた造語で、女性が抱える健康課題をテクノロジーで解決できる商品（製品）やサービスを指します。

■ Grace Bank ご利用者向けサービスの提供開始

協業における第一歩として、2021年10月12日（火）より、選択的卵子凍結保管サービス「Grace Bank」を利用される方に「特別優遇金利」を適用したローンサービス（MONEY CARD GOLD）の募集を開始いたします。現在は卵子凍結の利用料が全額自己負担であるため、金銭的ハードルを少しでも下げするためのファイナンスサービスとして提供いたします。

・専用申し込みページ：https://www.saisoncard.co.jp/lp/grace_moneymem2109/



年会費永久無料のカードローンです。ご利用可能枠の範囲内で何度でもご利用いただけ、コンビニ ATM 等でいつでもご返済いただけます。ご利用可能枠は最大300万円、実質年率6.47%（※）でご利用が可能です。

※毎年2月1日の短期プライムレートに応じて、ご融資利率を見直します。

■ 株式会社グレイスグループについて

グレイスグループは、「女性が願うあらゆるライフプランが社会的制約なく叶えられる未来の創出」をミッションに掲げ、女性の医学的機能（月経・妊娠・出産など）にまつわる様々な負担やリスクを軽減するための最先端の総合医療サービスの提供を目指しています。選択的卵子凍結保管サービス「Grace Bank」は、キャリアと出産の両立や、将来の不妊に不安を抱える人々を支援する、グレイスグループの最初の事業です。

<“選択的卵子凍結”とは>

グレイスグループは、「医学的に妊孕性喪失が差し迫っている状況ではない方」が「ご自身の将来のライフプランのために」実施する卵子凍結を、「選択的卵子凍結」と呼んでいます。

妊娠・出産はすべての女性に等しく求められるべきものではないこと、社会が女性に妊娠・出産を強いる風潮を醸成してはならないことを前提に、Social の直訳語である「社会的」という、やや圧力的とも受け取れる用語ではなく、「選択的」という女性ご自身の意志を尊重した言葉で案内をしています。

<Grace Bank について>

Grace Bank は、今の卵子を採取し、凍結保存しておく“卵子のタイムマシン”です。卵子は加齢の影響を受けやすく、いざ妊娠をしたい、というタイミングが訪れても、年齢によっては、思うように妊娠できないことがあります。卵子凍結をしておくことで、将来不妊治療をする際の時間的、精神的、肉体的、金銭的負担を大きく減らすことにつながると考えています。

<Grace Bank の特徴>

1. メディカルメンバーが厳選した「安心のクリニック」

Grace Bank が提携するクリニックは、IVF 学会中核と連携したメディカルネットワークで厳選した技術的・倫理的に信頼できるクリニックのみです。採卵から不妊治療まで、どのクリニックにも安心して通院いただけます。

2. 安心・安全の「凍結保管庫管理システム」

Grace Bank の保管庫は臍帯血保存で20年間無事故を誇る生体凍結保存のトップランナー、株式会社ステムセル研究所と共同運営されています。停電対策や液体窒素補充の自動化はもちろん卵子へのヒートショックや取り違いに対しても、独自のシステムを導入し万全の体制を整えています。

3. 高品質でありながら「圧倒的な低価格」

都内で15個の卵子を1年保管すると（採卵費用を除く）、平均で15万円程度かかるところ、Grace Bank では高品質保管を実現させながら、4万円まで低価格化しています。（※他クリニックの卵子保管費用はグレイスグループ調べ）

<株式会社グレイスグループの概要>

商号 : 株式会社グレイスグループ (英語名 : Grace Group Inc.)
設立 : 2020年8月31日
代表者 : 代表取締役会長 勝見 祐幸 / 代表取締役 CEO 花田 秀則
本社 : 東京都港区六本木 5-15-21-601
事業内容 : 選択的卵子凍結保管サービス事業 (<http://gracebank.jp>)
ウェブサイト : <http://gracegroupjapan.com>